

ひさりがわら版



〒258-0111 神奈川県足柄上郡山北町向原1510 ☎0465-43-7311 ☎0465-43-7322 E-mail : info@y-yukawa.com ☑http://y-yukawa.com

～ 元気な山北つくります！ ～

もみじ祭りや丹沢湖マラソンが終わり、今年もいよいよ残り1ヶ月となりました。

政権交代後のドバイショックで、現在国は混迷を深めています。また、11月には事業仕分けが大々的に報道され、多くの税金の無駄が指摘されました。

山北町でも「今、本当にやらねばならないこと」の取捨選択が必要です。優先順位の低いものは、縮小または中止をしなければなりません。減らせる経費は極力廃止し、そこで生み出した財源は、地域ブランドの開発、将来への投資、生活に直結する事業、未来を託す子どもたちのための事業に振り分けるべきではないでしょうか。

～ 地域が施策を考える ～

山北町が抱える最も大きな課題は、人口減少の問題であると考えています。

高齢化率が50%を超える集落を「限界集落」と言いますが、山北町の高齢化率は、27.2%にもなり、過疎地域から、限界集落ギリギリの段階にまで追い詰められています。

若者の流出、産業の衰退による税収の減少、行政サービスの低下などにより、自治会が維持できなくなりつつある地区が出てきました。

現在、国・県・町が行っている対症療法的施策はただの延命措置です。根本的な問題を解決するには、町民の自立、町民の主体的地域づくりがカギとなります。

限られた財源を有効に使い町民の満足度を高めるためには、町民のストレートな意見を取り入れる必要があります。いわば、町民が町を経営していく感覚です。町民の意思を町政に反映させたいのです。新しい町づくりの形が生まれると思います。「地域のことは地域で決定し、実行する町づくり」が実現できないかと、真剣に検討しております。

私は山北町をなんとしても「町民が自立して実行する町」に変えたいと強く強く願っています。

後援会情報

所在地 山北町向原1510
電話 0465-43-7311
FAX 0465-43-7322
E-mail info@y-yukawa.com
URL http://y-yukawa.com

会員募集

湯川ゆうじ後援会では、ただ今会員募集中です。入会の手続きは、入会申込書に記入して、地区役員にお渡しください。また、ホームページからでも入会できます。

～ 心の時代 ～

21世紀は「心の時代」と言われています。

20世紀は物があふれ、家の中ではリモコンひとつで何でもできるようになりました。お風呂が自動的に沸いたり、雨戸の開け閉めも自動で出来たり、お金があれば非常に便利な世の中になりました。しかし一方で格差が広がり、働けない人などは生活そのものが成り立たない状況です。

また、物の豊富さと反比例し、うつなど心の病気になる人が増えています。

これからは、便利さばかりを追いかけないで、不便さを受け入れる「心の意識改革」が必要ではないでしょうか。自然に囲まれ、清流の音を聞く、そんな山北の魅力を発信していこうではありませんか。



～ 福島県川俣町議員研修 ～

10月27日に、福島県川俣町の「定住化促進総合対策事業」の研修に行ってきました。

川俣町では人口を食い止めるため、児童生徒の医療費無料化やUIターン者定住奨励金、民間小規模宅地造成事業助成事業交付金、新規学卒者奨励金などさまざまな事業を行っていますが、それでも毎年200～300人の人口減少に歯止めがかからず、この問題の難しさを改めて実感しました。

しかし、私が特に感心したのは、教育推進プランで、学年が進むにつれて個人差が大きくなる傾向に対応するため、「読み聞かせ・読書学習プラン」「土曜・長期休業学習プラン」「集団体験学習プラン」の3つの事業を行っている点です。



中でも、小学校3年生から6年生を対象とした「土曜・長期休業学習プラン」は、土曜や夏休みに町内の公民館等を活用し、退職した先生方がボランティアで、学習指導、生活・余暇指導を行っているそうで、子どもたちに確実な基礎学力を身につけさせるために、山北町でもこのような事業を取り入れるべきだと思いました。

～ 茶たいむ ～

いま、町では「皇帝ダリア」が至るところで咲いています。私の事務所の横にも、屋根の上まで伸びて咲いています。花の少ない季節ですので、よけいに目を楽しませてくれます。花言葉は「優雅、威厳」だそうです。皇帝ダリアにはぴったりだと思います。